

## 高付加価値ブロッコリー「出雲フォルテ」で産地維持

### 1. JALしまね出雲ブロッコリー部会

- 【結 成】昭和63年
- 【部会員】75名
- 【面 積】55ha(春作14ha, 秋冬作41ha)  
※うち出雲フォルテ5ha

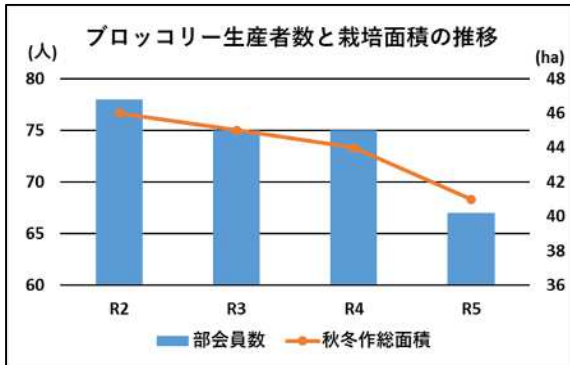


店頭に並べられた出雲フォルテ

出雲フォルテのほ場の様子

### 2. 取組の経過及び概要

全国的にブロッコリー生産が増加し、単価が低下する中で、出雲ブロッコリー部会は、高齢化により、生産者が減少、栽培面積も減少傾向にあり、産地の規模縮小が懸念。



単価アップによる収益性の高いブロッコリー生産を目指し、機能性成分に着目。

機能性成分(スルフォラファン)が通常の品種の2倍以上含まれている品種の栽培を開始し、「出雲フォルテ」という名称でブランド化。

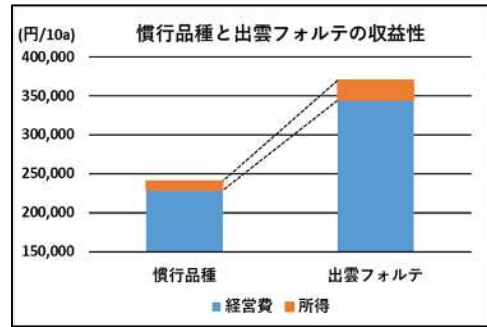
※ブロッコリーには、抗酸化作用(アンチエイジングや美肌効果)のある「スルフォラファン」という成分が含まれている。

通常のブロッコリーを販売していた取引先へ機能性成分をアピールし販路を確保。主に東京、大阪などの百貨店やスーパーへ販売。「出雲フォルテ」は、値決め販売を行い、安定した高単価での取引を実現。

### 3. 取組の成果

#### (1)所得が慣行の2倍に向上

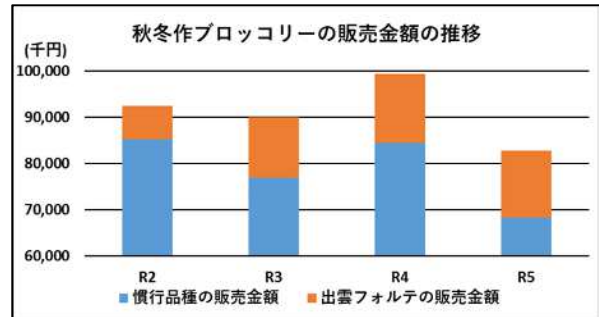
「出雲フォルテ」は慣行品種の2倍近い単価で販売され、生産者の収益性が大幅に向上。



※出雲フォルテの栽培では、種子代と肥料代が慣行よりも高いため経営費が多くなっている

#### (2)出雲フォルテの販売金額

販売金額は増加傾向で推移していたが、R5は減少。慣行品種の販売金額が減少傾向にある中、「出雲フォルテ」の販売金額は維持。



#### 代表者から一言

出雲フォルテは、単価の変化を心配せずに作れるため、栽培面積をもっと増やしていきたい。

山根康生 部会長

### 4. 課題と今後の取組方向

- ①反収の向上  
肥培管理などの栽培技術の見直しを進め、反収向上を図り、より一層の収益向上を目指す。
- ②販路の拡大  
高単価を維持するとともに、出雲フォルテの面積拡大を図るため、更なる販路拡大が必要。